

1 集団検診

1 調査目的

がん検診における発見がん患者の精密検査結果の詳細を把握することにより、検診の評価を行い、精度管理の維持・向上を図る。

2 調査対象

平成30年度の出張型住民検診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診受診者のうち、精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

3 調査内容

調査内容は、当事業団が実施した胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診における発見がん患者の精密検査結果および治療状況等とし、各がん取り扱い規約に基づいた内容について更なる詳細結果（報告）を求めた。

1] 取得方法

調査依頼先に対象者の発見がん追跡調査票を書留にて郵送し、回収した。

2] 調査依頼先

対象者の精密検査結果報告が提供された医療機関、または紹介先医療機関

3] 調査期間

初回調査：令和元年9月～10月

再調査：令和元年11月～12月

再調査は、以下の場合に実施

- (1) 初回調査の結果、転院が判明した者
- (2) 初回調査後、新たに精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

4 用語の解説

1] 精密検査結果内訳

- 1 精検受診：医療機関より精検結果の報告があった者。または、要精検者からの報告で精検日・精検法・精検結果・精検医療機関の4項目が揃っている者。
- 2 精検未把握：精検受診の有無が不明な者。または精検を受診していても精検結果が正確に分からない者。
- 3 精検未受診：精検を受診していても不適切な精検が行われた者。または、精検未受診が判明している者。

2] 発見がん追跡調査

- 1 追跡調査対象者数：精密検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者。（精検未把握者のうちがん又はがん疑いの者を含む）
- 2 詳細把握：発見がん追跡調査前に、がんと判明しかつその詳細結果を把握できた者。
- 3 がん以外：発見がん追跡調査前に、がん以外の疾患であることを把握できた者。
- 4 その他：初回調査及び再調査実施後、新たに医療機関よりがん又はがん疑いと精検結果の報告を受け、今回の調査期間中に調査を実施出来なかった者やがんと判明しているものの精検医療機関が不明な者等。

平成30年度出張型住民検診における発見がん追跡調査結果

令和2年1月31日現在

1 平成30年度事業団における発見がん調査結果

	胃がん	肺がん		大腸がん	子宮頸がん			乳がん	前立腺がん
		単純X線	ヘリカルCT		細胞診のみ	HPV併用	ASC-US時 HPV追加		
受診者数	47,361	79,300	1,091	77,750	1,377	12,250	28,844	51,596	26,990
要精検者数	3,882	1,130	33	3,895	48	445	458	1,996	2,026
要精検率(%)	(8.2)	(1.4)	(3.0)	(5.0)	(3.5)	(3.6)	(1.6)	(3.9)	(7.5)
精検受診者数	3,260	1,000	28	2,765	43	385	325	1,813	1,466
精検受診率(%)	(84.0)	(88.5)	(84.8)	(71.0)	(89.6)	(86.5)	(71.0)	(90.8)	(72.4)
追跡調査回収率(%)	(87.7)	(81.7)		(92.4)	(100.0)	(90.9)	(78.8)	(86.4)	(94.7)
発見がん数	52	50	1	118	0	2	4	109	132
がん発見率(%)	(0.11)	(0.06)	(0.09)	(0.15)	(0.00)	(0.02)	(0.01)	(0.21)	(0.49)
早期がん割合*(%)	(70.6)	(30.0)	(0.0)	(43.1)	-	(5.0)	(0.0)	(58.0)	(72.0)
陽性反応適中度(%)	(1.3)	(4.4)	(3.0)	(3.0)	(0.0)	(0.4)	(0.9)	(5.5)	(6.5)

*早期がん割合は、早期・進行のstageが不明であった者を除いて集計した。子宮頸がんについては、早期がん・進行がんという分類がないためIA期を早期がんに相当して集計した。

2 平成30年度 栃木県におけるがん検診実施状況 (栃木県健康診査実施状況調査より)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (指針方式)	乳がん (指針外方式)
受診者数	83,242	171,303	171,568	91,001	82,631	6,845
要精検率(%)	6.46	1.70	5.78	1.69	5.18	2.56
精検受診率*(%) (平成29年度確定)	75.0	83.6	69.3	73.1	89.2	85.4

*平成30年度の精検受診率は未発表のため、平成29年度確定値を掲載

3 平成30年度 日本対がん協会全国集計におけるがん検診実施状況 (住民)

(日本対がん協会がん検診の実施状況より)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん
受診者数	1,952,289	3,261,455	2,521,043	1,251,616	1,242,950	431,637
要精検率(%)	6.08	2.00	5.83	1.49	4.49	6.19
精検受診率(%)	80.2	79.6	68.2	82.0	90.3	63.3

4 がん検診に関する事業評価指標と許容値及び目標値

(がん検診の事業評価に関する委員会報告書より)

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
精検受診率	許容値	70.0%以上	70.0%以上	70.0%以上	70.0%以上	80.0%以上
	目標値	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
要精検率	許容値	11.0%以下	3.0%以下	7.0%以下	1.4%以下*	11.0%以下*
がん発見率	許容値	0.11%以上	0.03%以上	0.13%以上	0.05%以上*	0.23%以上*
陽性反応適中度	許容値	1.0%以上	1.3%以上	1.9%以上	4.0%以上*	2.5%以上*

*乳がん検診、子宮がん検診の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は参考値とする

平成30年度 出張型住民健診における発見胃がん調査結果

令和2年1月31日現在

【胃X線検査】

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
男	20,684	2,199 (10.6)
女	26,677	1,683 (6.3)
総数	47,361	3,882 (8.2)

2 精検結果内訳

	精 検 受 診																精 検	精 検	総 数
	早 期 発 見	進 行 疑 問	食 道 がん	そ の 他 の 悪 性 腫 瘍	粘 膜 下 腫 瘍	胃 潰 瘍	胃 潰 瘍 痕	十 二 指 腸 潰 瘍	十 二 指 腸 潰 瘍 痕	胃 ポ リ プ	異 型 上 皮	萎 縮 性 胃 炎	そ の 他 の 胃 炎	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し	精 検 未 把 握			
男	23	12	15	3	4	59	42	112	9	42	166	3	824	167	127	176	352	63	2,199
女	13	2	9	1	1	52	22	43	8	31	223	1	676	132	81	180	182	26	1,683
総数	36	14	24	4	5	111	64	155	17	73	389	4	1,500	299	208	356	534	89	3,882

3 発見胃がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回 収 数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	そ の 他 (d)		
男	51	1	0	0	50	42 (84.0)
女	24	1	0	0	23	22 (95.7)
総数	75	2	0	0	73	64 (87.7)

2] 調査結果内訳 (調査回収数及び調査前に発見胃がんの詳細を把握していた数を合わせた詳細)

	確 定 が ん			良 性 疾 患 (%)	異 常 な し (%)	未 確 定 (%)	追 跡 不 能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)				
男	24 (47.1)	10 (19.6)	1 (2.0)	4 (7.8)	1 (2.0)	3 (5.9)	8 (15.7)
女	12 (50.0)	5 (20.8)	0 (0.0)	5 (20.8)	0 (0.0)	1 (4.2)	1 (4.2)
総数	36 (48.0)	15 (20.0)	1 (1.3)	9 (12.0)	1 (1.3)	4 (5.3)	9 (12.0)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
39歳以下	219	6 (2.7)	6(100.0)	1 (0.46)
40～44歳	1,236	62 (5.0)	49 (79.0)	0 (0.00)
45～49歳	1,251	72 (5.8)	48 (66.7)	1 (0.08)
50～54歳	1,070	76 (7.1)	58 (76.3)	1 (0.09)
55～59歳	1,256	112 (8.9)	81 (72.3)	0 (0.00)
男 60～64歳	2,598	276 (10.6)	211 (76.4)	3 (0.12)
65～69歳	5,473	644 (11.8)	516 (80.1)	9 (0.16)
70～74歳	4,530	552 (12.2)	459 (83.2)	13 (0.29)
75～79歳	2,647	341 (12.9)	309 (90.6)	4 (0.15)
80歳以上	404	58 (14.4)	48 (82.8)	3 (0.74)
計	20,684	2,199 (10.6)	1,785 (81.2)	35 (0.17)
39歳以下	450	16 (3.6)	15 (93.8)	0 (0.00)
40～44歳	2,538	79 (3.1)	62 (78.5)	0 (0.00)
45～49歳	2,408	79 (3.3)	66 (83.5)	0 (0.00)
50～54歳	2,192	94 (4.3)	80 (85.1)	0 (0.00)
55～59歳	2,694	166 (6.2)	138 (83.1)	1 (0.04)
女 60～64歳	4,022	266 (6.6)	235 (88.3)	4 (0.10)
65～69歳	5,893	445 (7.6)	400 (89.9)	4 (0.07)
70～74歳	4,171	335 (8.0)	300 (89.6)	6 (0.14)
75～79歳	2,137	188 (8.8)	166 (88.3)	0 (0.00)
80歳以上	172	15 (8.7)	13 (86.7)	2 (1.16)
計	26,677	1,683 (6.3)	1,475 (87.6)	17 (0.06)
総 数	47,361	3,882 (8.2)	3,260 (84.0)	52 (0.11)

4] 早期・進行別発見数

深達度	早 期		進 行				不 明
	M	SM	MP	SS	SE	SI	
男	15	9	3	4	3	0	1
女	8	4	1	1	3	0	0
総数	23	13	4	5	6	0	1
	36 (70.6)		15 (29.4)				

※以下の表 5]～10] は深達度不明の1名を除き集計した

5] 肉眼的分類別発見数

肉眼的分類	発見数
I	1
II a	5
0型 II a+ II c	5
II b	1
II c	22
II c+ II a	2
1型	1
2型	5
3型	8
5型	1
総 数	51

6] Stage(進行度)分類別発見数

Stage (進行度)	発見数
I A	33
I B	2
II A	6
II B	5
III A	2
III B	3
総 数	51

7] 部位（壁在）分類別発見数

	早期	進行	総数
前壁	5	2	7
後壁	6	1	7
大彎	8	3	11
小彎	17	9	26
全周	0	0	0
総数	36	15	51

8] 部位（UML）分類別発見数

	早期	進行	総数
U	4	4	7
UM	2	2	2
MU	1	1	2
M	9	9	16
ML	2	2	3
LM	0	0	0
L	18	18	21
総数	36	36	51

9] 組織型分類別発見数

組織型	発見数
pap	1
tub1	24
tub2	9
por1	3
por2	8
sig	3
muc	1
特殊型	1
不明	1
総数	51

10] 治療分類別発見数

	発見数
外科手術	14
腹腔鏡下手術	17
内視鏡的手術	20
総数	51

11] 初回・非初回別発見数

※早期・進行割合は深達度不明1名を除いた割合

※平成30年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も胃がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上胃がん検診を受診している者

	受診者数	要精検者数	精検受診者数(%)	発見がん内訳			発見数(%)	
				早期(%)	進行(%)	不明		
初回	男	3,862	492	382 (77.6)	9 (69.2)	4 (30.8)	0	13 (0.34)
	女	5,437	398	333 (83.7)	2 (50.0)	2 (50.0)	0	4 (0.07)
	計	9,299	890	715 (80.3)	11 (64.7)	6 (35.3)	0	17 (0.18)
非初回	男	16,822	1,707	1,403 (82.2)	15 (71.4)	6 (28.6)	1	22 (0.13)
	女	21,240	1,285	1,142 (88.9)	10 (76.9)	3 (23.1)	0	13 (0.06)
	計	38,062	2,992	2,545 (85.1)	25 (73.5)	9 (26.5)	1	34 (0.09)
総数	47,361	3,882	3,260 (84.0)	36 (70.6)	15 (29.4)	1	52 (0.11)	

【胃がんリスク層別化検診】

1 検診実施状況

1] 検診実施状況

	受診者数	要二次検査者数 (%)
男	1,768	469 (26.5)
女	3,559	894 (25.1)
総 数	5,327	1,363 (25.6)

2] リスク層別内訳

年 齢	受診者数	A群 (%)	B群 (%)	C群 (%)	D群 (%)	B+C+D群 (%)
39歳以下	391	334 (85.4)	44 (11.3)	10 (2.6)	3 (0.8)	57 (14.6)
40～44歳	723	615 (85.1)	73 (10.1)	29 (4.0)	6 (0.8)	108 (14.9)
45～49歳	580	482 (83.1)	68 (11.7)	25 (4.3)	5 (0.9)	98 (16.9)
50～54歳	492	387 (78.7)	73 (14.8)	29 (5.9)	3 (0.6)	105 (21.3)
55～59歳	490	379 (77.4)	63 (12.9)	38 (7.8)	10 (2.0)	111 (22.7)
60～64歳	685	482 (70.4)	101 (14.7)	84 (12.3)	18 (2.6)	203 (29.6)
65～69歳	1,082	707 (65.3)	169 (15.6)	163 (15.1)	43 (4.0)	375 (34.7)
70～74歳	861	561 (65.2)	126 (14.6)	138 (16.0)	36 (4.2)	300 (34.8)
75～79歳	23	17 (73.9)	3 (13.0)	3 (13.0)	0 (0.0)	6 (26.1)
総 数	5,327	3,964 (74.4)	720 (13.5)	519 (9.7)	124 (2.3)	1,363 (25.6)

2 二次検査結果内訳（発見がん追跡調査前の二次検査結果）

	二 次 検 査 受 診															二 次 検 査 未 把 握	二 次 検 査 未 受 診	総 数	
	早 進 が 食	期 行 ん 道	が が 疑 が	ん ん い ん	そ の 他 の 胃 悪 性 腫 瘍	粘 膜 下 腫 瘍	胃 潰 瘍	胃 潰 瘍 痕	十 二 指 腸 潰 瘍 ・ 癒 痕	胃 ポ リ プ	異 型 上 皮	萎 縮 性 胃 炎	そ の 他 の 胃 炎	逆 流 性 食 道 炎	そ の 他 の 疾 患				異 常 な し
男	5	0	2	0	0	1	5	8	13	14	1	184	17	3	35	21	138	22	469
女	3	2	2	0	0	5	8	8	27	50	1	477	36	3	52	51	148	21	894
総数	8	2	4	0	0	6	13	16	40	64	2	661	53	6	87	72	286	43	1,363

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数(%)
		詳細把握(b)	がん以外(c)	その他(d)		
男	9	0	0	0	9	8 (88.9)
女	8	0	0	0	8	7 (87.5)
総数	17	0	0	0	17	15 (88.2)

2] 調査結果内訳

	発見がん			良性腫瘍(%)	未確定(%)	追跡不能(%)
	早期(%)	進行(%)	不明(%)			
男	6 (75.0)	1 (12.5)	0 -	0 -	1 (12.5)	0 -
女	4 (57.1)	0 -	1 (14.3)	1 (14.3)	0 -	1 (14.3)
総数	10 (66.7)	1 (6.7)	1 (6.7)	1 (6.7)	1 (6.7)	1 (6.7)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要二次検査者数(%)	二次検査受診者数(%)	発見がん数(%)	
男	39歳以下	94	17 (18.1)	13 (76.5)	1 (1.06)
	40～44歳	188	32 (17.0)	18 (56.3)	0 (0.00)
	45～49歳	155	23 (14.8)	12 (52.2)	0 (0.00)
	50～54歳	127	19 (15.0)	10 (52.6)	0 (0.00)
	55～59歳	124	30 (24.2)	17 (56.7)	0 (0.00)
	60～64歳	241	63 (26.1)	41 (65.1)	0 (0.00)
	65～69歳	441	145 (32.9)	100 (69.0)	4 (0.91)
	70～74歳	391	138 (35.3)	97 (70.3)	1 (0.26)
	75～79歳	7	2 (28.6)	2 (100.0)	1 (14.29)
	計	1,768	469 (26.5)	310 (66.1)	7 (0.40)
女	39歳以下	297	40 (13.5)	33 (82.5)	0 (0.00)
	40～44歳	535	76 (14.2)	54 (71.1)	0 (0.00)
	45～49歳	425	75 (17.6)	62 (82.7)	0 (0.00)
	50～54歳	365	86 (23.6)	66 (76.7)	1 (0.27)
	55～59歳	366	81 (22.1)	64 (79.0)	0 (0.00)
	60～64歳	444	140 (31.5)	118 (84.3)	1 (0.23)
	65～69歳	641	230 (35.9)	193 (83.9)	1 (0.16)
	70～74歳	470	162 (34.5)	131 (80.9)	2 (0.43)
75～79歳	16	4 (25.0)	4 (100.0)	0 (0.00)	
計	3,559	894 (25.1)	725 (81.1)	5 (0.14)	
総数	5,327	1,363 (25.6)	1,035 (75.9)	12 (0.23)	

4] リスク層別発見がん

	B群	C群	D群
リスク層別結果	720	519	124
発見がん数	5	6	1
リスク別発見割合(%)	(0.69)	(1.16)	(0.81)

5] 早期・進行別発見数

深達度	早期		進行	不明
	M	SM	SS	
男	5	1	1	0
女	2	2	0	1
総数	7	3	1	1
	10 (90.9)		1 (9.1)	

※以下の表6] ~ 11] は深達度不明の1名を除き集計した

6] 肉眼的分類別発見数

肉眼的分類		発見数
0型	II a+ II c	1
	II c	9
2型		1
総数		11

7] Stage (進行度) 別発見数

Stage (進行度)	発見数
I A	10
II B	1
総数	11

8] 部位 (壁在) 別発見数

	早期	進行	総数
前壁	2	0	2
後壁	2	0	2
大彎	1	0	1
小彎	5	1	6
総数	10	1	11

9] 部位 (UML) 別発見数

	早期	進行	総数
U	2	0	2
M	5	0	5
L	3	1	4
総数	10	1	11

10] 組織型別発見数

組織型	B群	C群	D群	総数
tub1	1	2	1	4
tub2	1	1	0	2
Por(1,2不明)	1	1	0	2
Sig	1	2	0	3
総数	4	6	1	11

11] 治療分類別発見数

	発見数
外科手術	2
腹腔鏡下手術	5
内視鏡的治療	4
総数	11

4 まとめ

平成30年度胃X線検査における胃がん発見率は0.11%、要精検率8.2%、陽性反応適中度1.3%であり、がん検診事業評価指標で示している許容値を満たしている。精検受診率は84.0%で昨年同様、目標値の90.0%は満たせていない。また、初回受診と非初回受診のがん発見数を比較すると、早期がんの割合は初回受診64.7%、非初回受診73.5%であり、経年受診で早期がん割合が高かった。これらのことから、精検受診率を高めるための働きかけや、経年受診の必要性について周知していく必要があると考えられる。

平成30年度の胃がんリスク層別化検診は7市2町において実施され、受診者数は5,327人(男性1,768人、女性3,559人)であり、二次検査の対象者数は1,363人で、二次検査未把握と二次検査未受診を除く二次検査受診者数は1,035人で、二次検査受診率は75.9%であった。また、胃がん発見率は0.23%で、男性7人(0.40%)、女性5人(0.14%)、陽性反応適中度0.9%であり、例年の如く男性のがん発見率が高かった。

胃がんリスク層別化検診でB・C・D群と判定された者は胃がんにかかりやすい状態にあるため、血液検査だけで終わらせず確実に専門の医療機関で二次検査を受診することが重要であるとする。

付表1 がん検診事業評価指標値との比較

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診率(%)	確定がん数(%)	陽性反応適中度(%)
平成30年度	47,361	3,882 (8.2)	(84.0)	52 (0.11)	(1.3)
平成29年度	49,075	3,867 (7.9)	(80.0)	54 (0.11)	(1.4)
平成28年度	49,675	4,469 (9.0)	(84.9)	57 (0.11)	(1.3)
がん検診事業評価指標値	許容値	11.0以下	70.0以上	0.11以上	1.0以上
	目標値		90.0以上		

付表2 胃がんリスク層別化検診における発見がん調査結果

	受診者数	要二次検査者数(%)	二次検査受診率(%)	発見がん数(%)	陽性反応適中度(%)
平成30年度	5,327	1,363 (25.6)	(75.9)	12 (0.23)	(0.9)
平成29年度	6,193	1,670 (27.0)	(75.4)	10 (0.16)	(0.6)
平成28年度	6,181	1,833 (29.7)	(79.7)	12 (0.19)	(0.7)

平成30年度 出張型住民健診における発見肺がん追跡調査結果

令和2年1月31日現在

1 検診実施状況

1] 肺がん検診

		受診者数	要 精 検 者 数*	
			D判定	E判定** (%)
男	胸部X線	30,855	343	560 (1.8)
	胸部X線+喀痰細胞診	1,031	26	30 (2.9)
	計	31,886	369	590 (1.9)
女	胸部X線	47,216	389	533 (1.1)
	胸部X線+喀痰細胞診	198	3	7 (3.5)
	計	47,414	392	540 (1.1)
総 数	胸部X線	78,071	732	1,093 (1.4)
	胸部X線+喀痰細胞診	1,229	29	37 (3.0)
	総 数	79,300	761	1,130 (1.4)

* 要精検者数 D判定は「肺癌以外の疾患を疑う」、E判定は「肺癌の疑い」

**E判定には喀痰細胞診でのみ要精検を含む。

2 精検結果内訳 (以下、肺がん検診要精検者E判定のみ)

	精 検 受 診												精 検	精 検	総 数
	原 発 性 肺 がん 疑 い	肺 が ん 疑 い	転 移 性 肺 腫 瘍	悪 性 腫 瘍 以 外 の 肺 腫 瘍	縦 隔 腫 瘍	活 動 性 肺 結 核 疑 い	不 活 動 性 肺 結 核 疑 い	肺 結 核 治 癒	そ の 他 の 呼 吸 器 疾 患	循 環 器 疾 患	そ の 他 の 異 常	異 常 認 め ず			
男	10	52	3	5	1	1	4	7	196	7	15	212	71	6	590
女	12	47	5	2	5	1	7	4	169	6	21	208	45	8	540
総数	22	99	8	7	6	2	11	11	365	13	36	420	116	14	1,130

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			追跡 調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	63	0	6	0	57	49 (86.0)
女	59	0	7	0	52	40 (76.9)
総数	122	0	13	0	109	89 (81.7)

2] 調査結果内訳（調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を併せた詳細）

	発見がん			その他 (%)	異常 なし (%)	経過 観察 (%)	未確定 (%)	追跡 不能 (%)
	I期 (%)	I期外 (%)	不明 (%)					
男	12 (21.1)	16 (28.0)	1 (1.8)	16 (28.1)	0 (0.0)	1 (1.8)	3 (5.3)	8 (14.0)
女	13 (25.0)	8 (15.4)	0 (0.0)	17 (32.7)	1 (1.9)	0 (0.0)	1 (1.9)	12 (23.1)
総数	25 (22.9)	24 (22.0)	1 (0.9)	33 (30.3)	1 (0.9)	1 (0.9)	4 (3.7)	20 (18.3)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診数 (%)	確定がん数 (%)	
39歳以下	409	2 (0.5)	2 (100.0)	0 (0.00)	
40～44歳	1,443	8 (0.6)	7 (87.5)	0 (0.00)	
45～49歳	1,398	10 (0.7)	7 (70.0)	0 (0.00)	
50～54歳	1,215	10 (0.8)	8 (80.0)	1 (0.08)	
55～59歳	1,537	17 (1.1)	12 (70.6)	0 (0.00)	
男	60～64歳	3,536	48 (1.4)	42 (87.5)	1 (0.03)
65～69歳	7,895	145 (1.8)	122 (84.1)	10 (0.13)	
70～74歳	7,039	155 (2.2)	139 (89.7)	6 (0.09)	
75～79歳	4,661	116 (2.5)	103 (88.8)	5 (0.11)	
80歳以上	2,753	79 (2.9)	71 (89.9)	6 (0.22)	
計	31,886	590 (1.9)	513 (86.9)	29 (0.09)	
39歳以下	692	2 (0.3)	2 (100.0)	0 (0.00)	
40～44歳	3,475	9 (0.3)	8 (88.9)	0 (0.00)	
45～49歳	3,187	13 (0.4)	11 (84.6)	0 (0.00)	
50～54歳	3,052	24 (0.8)	21 (87.5)	0 (0.00)	
55～59歳	3,919	26 (0.7)	24 (92.3)	1 (0.03)	
女	60～64歳	6,707	77 (1.1)	70 (90.9)	4 (0.06)
65～69歳	10,832	149 (1.4)	130 (87.2)	5 (0.05)	
70～74歳	8,420	116 (1.4)	109 (94.0)	6 (0.07)	
75～79歳	4,748	75 (1.6)	69 (92.0)	5 (0.11)	
80歳以上	2,382	49 (2.1)	43 (87.8)	0 (0.00)	
計	47,414	540 (1.1)	487 (90.2)	21 (0.04)	
総数	79,300	1,130 (1.4)	1,000 (88.5)	50 (0.06)	

4] 検査方法別 発見がん数と発見率

	実施人数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
胸部 X 線	79,300	1,130 (1.4)	1,000 (88.5)	50 (0.06)
ヘリカルCT	1,091	33 (3.0)	28 (84.8)	1 (0.09)
総 数	80,391	1,163 (1.4)	1,028 (88.4)	51 (0.06)

5] 検診実施状況 (胸部CT検診)

	受診者数	要精検者数		精検受診者数 (%)
		D判定	E判定 (%)	
ヘリカルCT	1,084	63	33 (3.0)	28 (84.8)
ヘリカルCT + 喀痰細胞診	7	1	0 (0.0)	0 (0.0)

6] 発見がん内訳 (胸部CT検診)

年齢・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
70代・男性	無し	腺癌	III A	胸腔鏡下手術

7] 発見がん内訳 (胸部CT検診以外)

(1) 組織分類別発見数

	男	女	総数
腺 癌	18	18	36
扁平上皮癌	6	1	7
大細胞癌	1	0	1
小細胞癌	2	0	2
その他	0	1	1
不明	2	1	3
総 数	29	21	50

(2) 臨床病期分類別発見数

	男	女	総数
0期	0	1	1
IA 1期	2	2	4
IA 2期	1	3	4
IA 3期	1	5	6
IB期	8	2	10
II A期	0	0	0
II B期	4	1	5
III A期	2	2	4
III B期	4	1	5
III C期	1	0	1
IV期	1	0	1
IVA期	3	4	7
IVB期	1	0	1
不明	1	0	1
総 数	29	21	50

(3) 治療分類別発見数

	男	女	総数
手 術	4	2	6
手術・化学療法	0	1	1
胸腔鏡下手術	14	11	25
胸腔鏡下手術・化学療法	0	1	1
化学療法	5	4	9
放射線療法	3	0	3
化学療法・放射線療法	1	0	1
治療拒否	1	0	1
不明	1	2	3
総 数	29	21	50

4 前回未受診、前回受診別 追跡調査結果（胸部CT検診以外）

平成30年度地域保健・健康増進事業報告より

前回未受診：前年度受診していない者

前回受診：前年度も検診を受診している者

1] 前回未受診、前回受診別 発見率及びI期率

	受診者数	発見がん数 (%)	I期 (%)	I期外	不明
前回未受診	21,065	21 (0.09)	8 (38.1)	13	0
前回受診	58,235	29 (0.04)	17 (58.6)	11	1

2] 前回未受診、前回受診別 臨床病期分類別発見数

	0期	I A 1期	I A 2期	I A 3期	I B 期	II A 期	II B 期	III A 期	III B 期	III C 期	IV期	IV A 期	IV B 期	不明	総数
前回未受診	0	1	1	3	3	0	4	1	4	0	1	3	0	0	21
前回受診	1	3	3	3	7	0	1	3	1	1	0	4	1	1	29

5 喫煙及び組織型

1] 喫煙指数（本数/日×年数）

喫煙指数	男	女	総数
0～	4	17	21
200～	3	1	4
400～	2	1	3
600～	3	1	4
800～	10	0	10
1000～	3	0	3
1200～	2	0	2
1400～	2	1	3
総数	29	21	50

2] 喫煙指数及び組織型別発見数

喫煙指数	組織型	男	女	総数
600未満	腺 癌	4	2	6
	小細胞癌	1	0	1
	扁平上皮癌	2	0	2
600以上	腺 癌	13	0	13
	扁平上皮癌	3	1	4
	大細胞癌	1	0	1
	小細胞癌	1	0	1
	その他	0	1	1
不明	2	0	2	
総数		27	4	31

※喫煙歴なし 男2名、女17名

3] 喫煙習慣及び組織型別発見数

喫煙習慣	組織型	男	女	総数
吸わない	腺 癌	1	16	17
	扁平上皮癌	1	0	1
	不明	0	1	1
止めた	腺 癌	10	2	12
	扁平上皮癌	3	0	3
	小細胞癌	1	0	1
	大細胞癌	1	0	1
	その他	0	1	1
	不明	2	0	2
吸う	腺 癌	7	0	7
	扁平上皮癌	2	1	3
	小細胞癌	1	0	1
	大細胞癌	0	0	0
	その他	0	0	0
不明	0	0	0	
総数		29	21	50

6 まとめ

肺癌取扱い規約の肺がん検診の手引きより「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」の中で「肺がん検診における肺癌確診患者数（検診発見肺癌）とは、E1およびE2判定となった要精検者の中から原発性肺癌と確診された患者数を意味する」、また「D判定者の中から肺癌が発見されたとしても、検診発見肺癌とは認めない」との記述があり、これに基づいて追跡調査を行っている。

平成30年度、肺がん検診受診者は79,300人で、確定肺がんは50人であり、がん発見率は昨年度の0.08%に対し今年度は0.06%であった。また、肺がん検診受診者数は前年度の79,268人とほぼ同水準の79,300人であった。

前回未受診者と経年受診者を比較したところ、がん発見率は、前回未受診者の0.09%に対し経年受診者は0.04%であった。

I期肺がん割合は、前回未受診者では38.1%だったが、経年受診者では58.6%で、経年受診者の方がI期肺がんの割合が高かった。

肺がん検診の精検受診率については、胸部X線検診（喀痰細胞診併用を含む）では、前年度の84.1%に対し今年度は88.5%と高い結果になった。

今年度は回収率が低かったため、昨年度と比較するとがん発見率が低い結果となった。（付表1）

当施設における肺がん検診の成績と、がん検診事業評価指標の許容値を比較すると、全て満たしていた。今後は更なる精度管理の向上をはかるために、精検受診率の目標値である90%以上を目指して各関係機関と連携していきたい。（付表）

付表 がん検診事業評価指標値との比較（対象は肺がんCTを除く肺がん検診とする）

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	確定がん数	がん発見率 (%)	陽性反応適中度 (%)
事業団 平成30年度	79,300	1,130 (1.4)	(88.5)	50	(0.06)	(4.4)
事業団 平成29年度	79,268	1,167 (1.5)	(84.1)	61	(0.08)	(5.2)
事業団 平成28年度	73,610	1,653 (2.2)	(89.2)	56	(0.08)	(3.4)
がん検診事業評価指標値	許容値	3.0以下	70.0以上		0.03以上	1.3以上
	目標値		90.0以上			

平成30年度 出張型住民健診における発見大腸がん追跡調査結果

令和2年1月31日現在

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
男	30,783	2,010 (6.5)
女	46,967	1,885 (4.0)
総数	77,750	3,895 (5.0)

2 精検結果内訳（発見がん追跡調査前の精検結果）

	精 検 受 診											精 検	精 検	総 数
	早 期 が ん	進 行 が ん	が ん 疑 い	ポ リ プ	ポ リ ポ ー シ ス	ク ロ ー ン 病	潰 瘍 性 大 腸 炎	憩 室	痔 疾 患	そ の 他 の 疾 患	異 常 認 め ず			
男	37	35	17	798	6	1	6	129	98	33	215	475	160	2,010
女	24	21	11	617	1	0	7	115	162	42	390	388	107	1,885
総数	61	56	28	1,415	7	1	13	244	260	75	605	863	267	3,895

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	90	0	0	1	89	84 (94.4)
女	58	2	0	1	55	49 (89.1)
総数	148	2	0	2	144	133 (92.4)

2] 調査結果内訳

	発 見 が ん			その他の 疾患 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)				
男	39 (43.8)	36 (40.4)	1 (1.1)	5 (5.6)	1 (1.1)	2 (2.2)	5 (5.6)
女	23 (41.8)	18 (32.7)	1 (1.8)	5 (9.1)	0 (0.0)	2 (3.6)	6 (10.9)
総数	62 (43.1)	54 (37.5)	2 (1.4)	10 (6.9)	1 (0.7)	4 (2.8)	11 (7.6)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診数 (%)	発見がん数 (%)
男				
39歳以下	268	8 (3.0)	5 (62.5)	0 (0.00)
40～44歳	1,497	60 (4.0)	32 (53.3)	0 (0.00)
45～49歳	1,477	53 (3.6)	40 (75.5)	1 (0.07)
50～54歳	1,318	60 (4.6)	37 (61.7)	1 (0.08)
55～59歳	1,608	89 (5.5)	62 (69.7)	3 (0.19)
60～64歳	3,453	202 (5.8)	138 (68.3)	7 (0.20)
65～69歳	7,515	461 (6.1)	305 (66.2)	15 (0.20)
70～74歳	6,501	428 (6.6)	295 (68.9)	17 (0.26)
75～79歳	4,476	381 (8.5)	281 (73.8)	20 (0.45)
80歳以上	2,670	268 (10.0)	182 (67.9)	12 (0.45)
計	30,783	2,010 (6.5)	1,377 (68.5)	76 (0.25)
女				
39歳以下	651	28 (4.3)	20 (71.4)	0 (0.00)
40～44歳	3,522	120 (3.4)	68 (56.7)	1 (0.03)
45～49歳	3,391	104 (3.1)	69 (66.3)	0 (0.00)
50～54歳	3,311	106 (3.2)	70 (66.0)	0 (0.00)
55～59歳	4,234	143 (3.4)	100 (69.9)	5 (0.12)
60～64歳	6,753	229 (3.4)	163 (71.2)	4 (0.06)
65～69歳	10,372	405 (3.9)	316 (78.0)	17 (0.16)
70～74歳	7,777	323 (4.2)	262 (81.1)	5 (0.06)
75～79歳	4,593	243 (5.3)	195 (80.2)	7 (0.15)
80歳以上	2,363	184 (7.8)	129 (70.1)	3 (0.13)
計	46,967	1,885 (4.0)	1,392 (73.8)	42 (0.09)
総数	77,750	3,895 (5.0)	2,769 (71.1)	118 (0.15)

4] 占居部位別発見数

	男	女	総数
盲腸	5	3	8
上行結腸	11	8	19
横行結腸	4	3	7
下行結腸	1	2	3
S状結腸	23	13	36
直腸S状部	7	3	10
直腸	25	10	35
総数	76	42	118

5] 組織分類別発見数

	男	女	総数
乳頭腺癌	2	1	3
高分化	44	18	62
管状腺癌	24	18	42
中分化	1	0	1
低分化	0	1	1
粘液癌	3	0	3
その他	2	4	6
不明			
総数	76	42	118

6] 組織学的深達度別発見数

	男	女	総数
Tis (M)	30	16	46
T1a (SM)	4	4	8
T1b (SM)	5	3	8
T2 (MP)	13	6	19
T3 (SS)	18	7	25
T4a(SE)	5	5	10
不明	1	1	2
総数	76	42	118

7] 治療方法別発見数

	早期	進行	不明	総数
ポリペクトミー	5	0	0	5
内視鏡的粘膜切除	43	0	0	43
腹腔鏡下手術	11	38	1	50
外科手術	3	16	1	20
総数	62	54	2	118

8] Stage分類別発見数

	男	女	総数
0	30	16	46
I	21	12	33
II a	9	4	13
II b	2	1	3
III a	1	0	1
III b	9	5	14
III c	3	0	3
IV	0	4	4
不明	1	0	1
総数	76	42	118

9] Dukes分類別発見数

	男	女	総数
A	51	28	79
B	11	5	16
C	13	5	18
D	0	4	4
不明	1	0	1
総数	76	42	118

10] 初回、非初回別早期割合

※平成30年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も大腸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上大腸がん検診を受診している者

		早期(%)	進行	不明
初回	男	12 (46.2)	14	0
	女	8 (57.1)	6	0
	計	20 (50.0)	20	0
非初回	男	27 (54.0)	22	1
	女	15 (53.6)	12	1
	計	42 (53.9)	34	2

4 まとめ

平成30年度の発見大腸がん追跡調査の結果、男性76人、女性42人のがんが発見された。がん発見率は男性0.25%、女性0.09%であり、男性のがん発見率が高かった。また、男女とも加齢とともにがん発見率は高くなる傾向を示した。

発見大腸がんの占居部位はS状結腸が最も多く（30.5%）、次いで直腸（29.7%）及び上行結腸（16.1%）の順であった。直腸S状部を含めた直腸の割合は38.2%となり、一番多く発見された。

組織型は管状腺癌が最も多く、高分化型（52.5%）、中分化型（35.6%）、低分化型（0.8%）と合わせると88.9%を占めていた。また、粘液癌が1人発見された。

発見大腸がんの組織深達度では、118人中、62人（52.6%）が早期がんとなるTis(M)、T1a,T1b(SM)であった。

発見大腸がんの治療方法は（図5）、早期がんに対して内視鏡下で行われるポリペクトミー、ESDを含む内視鏡的粘膜切除が118人中48人（40.7%）に実施された。腹腔鏡下手術は、118人中50人（42.4%）に実施されており、早期、進行問わず手術術式の中で広く用いられる方法となった。なお、外科手術（通常の開腹手術）は20人（16.9%）で実施されていた。

大腸がん検診の受診履歴別による発見大腸がんの早期がん割合は、初回受診者が50.0%であるのに対し、非初回受診者では53.9%であった。

2018年7月に大腸癌取扱い規約第9版が発行されたことにより、平成30年度の発見大腸がん追跡調査から使用する追跡調査票の一部を変更した。①内視鏡治療後の癌遺残を記す（E R）の追加。②深達度T1（SM）をT1a（SM）とT1b（SM）に細分化。③リンパ節転移N1をN1aとN1bとし、N2をN2aとN2bに細分化。④遠隔転移M1をM1a、M1b、M1cへと細分化。⑤Stage IIをII a、II b、II cとし、Stage IIIをIII a、III b、III cへと細分化した。

「がん検診事業の評価に関する委員会」で示されたプロセス指標の許容値との比較を下記に示す。精度管理の指標となる要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度の全てにおいて許容値を満たしていた。

大腸がん検診で発見されるがんは早期がんが多く、内視鏡下での粘膜切除にて治療が済む割合が高い。また、非初回受診者で発見される大腸がんは初回受診者よりも早期がんの割合が高く、検診の受診率向上と継続受診の重要性を併せた受診勧奨が、より多くの大腸がんの早期発見・早期治療に繋がるものと考えられる。

付表 がん検診事業評価指標値との比較

	受診者数	要精検者数 (%)	精検 受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
事業団 平成30年度	77,750	3,895 (5.0)	(71.1)	118 (0.15)	(3.0)
事業団 平成29年度	77,485	4,049 (5.2)	(68.8)	113 (0.15)	(2.8)
事業団 平成28年度	75,611	4,065 (5.4)	(77.3)	117 (0.15)	(2.9)
がん検診 事業評価指標	許容値 目標値	7.0%以下	70.0%以上 90.0%以上	0.13%以上	1.9%以上

平成30年度 出張型住民健診における発見子宮頸がん追跡調査結果

令和2年1月31日現在

1 検診実施状況

1] 検査方式別実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
HPV併用	12,250	445 (3.6)
ASC-US時HPV追加	28,844	458 (1.6)
細胞診のみ	1,377	48 (3.5)
総 数	42,471	951 (2.2)

2] 平成30年度 市町別実施方式

① HPV併用	小山市・野木町・下野市
	芳賀町の検診車
	足利市の30歳・35歳・40歳の希望者
	那須烏山市の30歳・35歳・40歳
	茂木町の30歳以上
	那須塩原市の30歳から59歳
② ASC-US時HPV追加	大田原市の25歳から45歳
	那須町の30歳から49歳
③ 細胞診のみ	宇都宮市

【HPV併用】

1 検診実施状況

1] 受診状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	12,250	445 (3.6)

2] 細胞診結果内訳

細胞診結果	ベセスダシステム判定結果内訳（適正検体）										
	受診者数	適 正 標 本									不適正 標 本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	
19歳以下	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24歳	206	175	12	0	16	3	0	0	0	0	0
25～29歳	510	450	31	1	22	6	0	0	0	0	0
30～34歳	1,041	953	50	0	28	10	0	0	0	0	0
35～39歳	1,226	1,113	63	1	37	11	0	1	0	0	0
40～44歳	1,347	1,239	69	0	22	15	0	2	0	0	0
45～49歳	1,112	1,034	63	2	9	3	0	1	0	0	0
50～54歳	1,115	1,064	32	0	16	3	0	0	0	0	0
55～59歳	1,209	1,172	28	0	7	2	0	0	0	0	0
60～64歳	1,058	1,044	10	0	1	3	0	0	0	0	0
65～69歳	1,478	1,443	19	1	5	9	0	0	0	0	1
70～74歳	1,159	1,141	14	1	0	3	0	0	0	0	0
75～79歳	602	589	7	0	1	5	0	0	0	0	0
80歳以上	185	180	4	0	1	0	0	0	0	0	0
総 数	12,250	11,599	402	6	165	73	0	4	0	0	1

3] HPV-DNA検査結果内訳

	受診者数	HPV(-)	HPV(+)(%)
19歳以下	2	2	0 (0.0)
20～24歳	206	172	34 (16.5)
25～29歳	510	443	67 (13.1)
30～34歳	1,041	940	100 (9.6)
35～39歳	1,226	1,130	95 (7.7)
40～44歳	1,347	1,255	90 (6.7)
45～49歳	1,112	1,051	61 (5.5)
50～54歳	1,115	1,082	33 (3.0)
55～59歳	1,209	1,172	35 (2.9)
60～64歳	1,058	1,046	11 (1.0)
65～69歳	1,478	1,448	29 (2.0)
70～74歳	1,159	1,143	16 (1.4)
75～79歳	602	587	15 (2.5)
80歳以上	185	178	7 (3.8)
総 数	12,250	11,649	593 (4.8)

※ 受診者数はHPV検査の判定不能1人、希望なし4人、不同意3人を含む。

2 精検結果内訳

精 検 受 診													結 果	精 検	総 数
上 皮 内 がん *	上 皮 内 腺 がん *	微小浸潤扁平上皮がん *	微小浸潤腺 がん *	扁平 上皮 がん *	腺 がん *	そ の 他 の がん *	高 度 異 形 成 *	中 等 度 異 形 成	軽 度 異 形 成	腺 異 形 成 *	そ の 他 の 疾 患	異 常 を 認 め ず	52	8	445
2	1	1	0	0	1	0	17	51	179	0	5	128			

* 追跡調査対象者

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追 跡 調 査 対 象 者 数 (a)	調査除外内訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総 数	22	0	0	1	22	20 (90.9)

2] 調査結果内訳

	発 見 が ん		AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	腺異形成 (%)	経過観察 (%)	未確定 (%)
	I B期以上 (%)	I A期 (%)							
総 数	1 (5.0)	1 (5.0)	2 (10.0)	9 (45.0)	2 (10.0)	2 (10.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	2 (10.0)

3] 検診での細胞診結果とHPV結果の発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	適正	不適正									
	12,249	1	11,599	402	6	165	73	0	4	0	0
HPV 検査 (-)	11,649	-	11,385	227	2	28	4	-	3	-	-
HPV 検査 (+)	593	-	208	175	4	136	69	-	1	-	-
未実施	7	-	6	0	0	1	0	-	0	-	-
精検不要者数	413	-	186	227	-	-	-	-	-	-	-
要精検者数	445	-	22*	175	6	165	73	-	4	-	-
精検受診者数	385	-	17	158	5	139	62	-	4	-	-
発見がん数	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0

*2年連続で細胞診 (NILM)・HPV(+)なので要精検となった。

4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
19歳以下	2	0 (0.0)	- (-)	- (-)
20～24歳	206	29 (14.1)	26 (89.7)	0 (0.00)
25～29歳	510	51 (10.0)	44 (86.3)	0 (0.00)
30～34歳	1,041	74 (7.1)	67 (90.5)	0 (0.00)
35～39歳	1,226	79 (6.4)	66 (83.5)	0 (0.00)
40～44歳	1,347	67 (5.0)	63 (94.0)	0 (0.00)
45～49歳	1,112	49 (4.4)	38 (77.6)	0 (0.00)
50～54歳	1,115	27 (2.4)	25 (92.6)	1 (0.09)
55～59歳	1,209	24 (2.0)	18 (75.0)	0 (0.00)
60～64歳	1,058	6 (0.6)	6 (100.0)	1 (0.09)
65～69歳	1,478	20 (1.4)	17 (85.0)	0 (0.00)
70～74歳	1,159	8 (0.7)	6 (75.0)	0 (0.00)
75～79歳	602	8 (1.3)	7 (87.5)	0 (0.00)
80歳以上	185	3 (1.6)	2 (66.7)	0 (0.00)
総 数	12,250	445 (3.6)	385 (86.5)	2 (0.02)

5] 初回、非初回別実施状況

※ 平成30年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

(1) 実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
初 回	4,569	232 (5.1)	204 (87.9)	2 (0.04)
非初回	7,681	213 (2.8)	181 (85.0)	0 (0.00)
総 数	12,250	445 (3.6)	385 (86.5)	2 (0.02)

(2) I A期・I B期以上の割合

	発見がん数	I A期 (%)	I B期以上 (%)	不 明 (%)
初 回	2	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (0.0)
非初回	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総 数	2	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (0.0)

(3) 年齢別実施状況

		受診者数 (%)	要精検者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
39歳以下	初 回	1,998 (66.9)	149 (7.5)	0 (0.00)	(0.0)
	非初回	987 (33.1)	83 (8.4)	0 (0.00)	(0.0)
	総 数	2,985 (100.0)	232 (7.8)	0 (0.00)	(0.0)
40歳以上	初 回	2,571 (27.7)	84 (3.3)	2 (0.08)	(2.4)
	非初回	6,694 (72.3)	129 (1.9)	0 (0.00)	(0.0)
	総 数	9,265 (100.0)	213 (2.3)	2 (0.02)	(0.9)

6] 発見がんの詳細

(1) 臨床進行期別発見数

臨床進行期		発見数
I A期	I A期	1
I B期以上	I B期	1
総 数		2

(2) T N M分類別発見数

TNM分類	I A期 (人)	I B期以上 (人)
T1・NO・MO	1	1
総 数	1	1

(3) 組織分類別発見数

	I A期 (人)	I B期以上 (人)
微小浸潤扁平上皮癌	1	0
腺癌	0	1
総 数	1	1

(4) 治療分類別発見数

術式	I A期 (人)	I B期以上 (人)	AIS (人)	CIN3 (人)
子宮頸部円錐切除術	0	0	1	4
単純子宮全摘出術	1	0	1	0
広汎子宮全摘出術	0	1	0	0
未記入	0	0	0	5
総 数	1	1	2	9

【ASC-US時HPV追加】

1 検診実施状況

1] 受診状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	28,844	458 (1.6)

2] 細胞診結果内訳

細胞診結果	受診者数	ベセスダシステム判定結果内訳 (適正検体)									不適正 標 本
		適 正 標 本									
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	
19歳以下	14	11	2	0	1	0	0	0	0	0	0
20～24歳	493	455	19	0	19	0	0	0	0	0	0
25～29歳	783	721	23	0	29	10	0	0	0	0	0
30～34歳	1,406	1,331	30	1	29	15	0	0	0	0	0
35～39歳	1,733	1,627	61	2	31	12	0	0	0	0	0
40～44歳	2,217	2,088	78	2	37	10	0	1	1	0	0
45～49歳	2,414	2,276	91	2	36	8	0	0	0	0	1
50～54歳	2,291	2,208	58	1	21	2	0	1	0	0	0
55～59歳	2,658	2,602	35	3	10	7	0	1	0	0	0
60～64歳	4,010	3,951	45	1	9	4	0	0	0	0	0
65～69歳	5,156	5,083	41	3	15	14	0	0	0	0	0
70～74歳	3,420	3,380	32	0	6	2	0	0	0	0	0
75～79歳	1,669	1,645	20	0	2	1	0	0	0	0	1
80歳以上	580	574	5	0	1	0	0	0	0	0	0
総 数	28,844	27,952	540	15	246	85	0	3	1	0	2

3] ASC-USと判定された受診者のHPV-DNA検査結果内訳

	受診者数	HPV(-)	HPV(+)(%)
19歳以下	2	0	2 (100.0)
20～24歳	19	9	10 (52.6)
25～29歳	23	13	10 (43.5)
30～34歳	30	22	8 (26.7)
35～39歳	61	49	12 (19.7)
40～44歳	78	66	12 (15.4)
45～49歳	91	73	18 (19.8)
50～54歳	58	51	7 (12.1)
55～59歳	35	33	2 (5.7)
60～64歳	45	38	7 (15.6)
65～69歳	41	32	9 (22.0)
70～74歳	32	25	7 (21.9)
75～79歳	20	17	3 (15.0)
80歳以上	5	4	1 (20.0)
総 数	540	432	108 (20.0)

2 精検結果内訳

	精 検 受 診												結 果	精 検 未 受 診 数	総 数	
	上 皮 内 がん *	上 皮 内 腺 がん *	微 小 浸 潤 扁平 上皮 がん *	微 小 浸 潤 腺 がん *	扁 平 上 皮 がん *	腺 がん *	そ の 他 の がん *	高 度 異 形 成 *	中 等 度 異 形 成	軽 度 異 形 成	腺 異 形 成 *	そ の 他 の 疾 患				異 常 を 認 め ず
総数	4	1	0	0	2	2	3	21	45	136	0	4	107	59	74	458

* 追跡調査対象者

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追 跡 調 査 対 象 者 数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回 収 数 (%)
		詳 細 把 握 (b)	が ん 以 外 (c)	そ の 他 (d)		
総 数	33	0	0	1	33	26 (78.8)

2] 調査結果内訳

	発 見 が ん		AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	腺 異 形 成 (%)	そ の 他 疾 患 (%)	未 確 定 (%)	異 常 な し (%)
	I B 期 以 上 (%)	I A 期 (%)								
総 数	4 (15.4)	0 (0.0)	2 (7.7)	10 (38.5)	2 (7.7)	3 (11.5)	0 (0.0)	2 (7.7)	2 (7.7)	1 (3.8)

3] 検診での細胞診結果とHPV結果の発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma
	適 正	不 適 正									
	28,842	2	27,952	540	15	246	85	0	3	1	0
精検不要者数	432	-	-	432*	-	-	-	-	-	-	-
要精検者数	458	-	-	108	15	246	85	-	3	1	-
精検受診者数	325	-	-	87	12	161	61	-	3	1	-
発見がん数	4	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0

* 細胞診はASC-USでHPVが(-)なので精検不要。

4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
19歳以下	14	3 (21.4)	3 (100.0)	0 (0.00)
20～24歳	493	29 (5.9)	16 (55.2)	0 (0.00)
25～29歳	783	49 (6.3)	30 (61.2)	0 (0.00)
30～34歳	1,406	53 (3.8)	33 (62.3)	1 (0.07)
35～39歳	1,733	57 (3.3)	38 (66.7)	0 (0.00)
40～44歳	2,217	63 (2.8)	46 (73.0)	0 (0.00)
45～49歳	2,414	64 (2.7)	44 (68.8)	1 (0.04)
50～54歳	2,291	32 (1.4)	28 (87.5)	1 (0.04)
55～59歳	2,658	23 (0.9)	20 (87.0)	0 (0.00)
60～64歳	4,010	21 (0.5)	16 (76.2)	1 (0.02)
65～69歳	5,156	41 (0.8)	33 (80.5)	0 (0.00)
70～74歳	3,420	15 (0.4)	12 (80.0)	0 (0.00)
75～79歳	1,669	6 (0.4)	6 (100.0)	0 (0.00)
80歳以上	580	2 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.00)
総数	28,844	458 (1.6)	325 (71.0)	4 (0.01)

※ 子宮頸がんの発見がん4人以外に55～59歳に膣がんが1人と55～59歳に子宮体がんが1人発見された。

5] 初回、非初回別実施状況

※平成30年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

(1) 実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
初回	6,199	215 (3.5)	142 (66.0)	4 (0.06)
非初回	22,645	243 (1.1)	183 (75.3)	0 (0.00)
総数	28,844	458 (1.6)	325 (71.0)	4 (0.01)

(2) I A期・I B期以上の割合

	発見がん数	I A期 (%)	I B期以上 (%)	不明 (%)
初回	4	0 (0.0)	4 (100.0)	0 (0.0)
非初回	0	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	4	0 (0.0)	4 (100.0)	0 (0.0)

(3) 年齢別実施状況

		受診者数 (%)	要精検者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
39歳以下	初 回	2,177 (49.2)	125 (5.7)	1 (0.05)	(0.8)
	非初回	2,252 (50.8)	66 (2.9)	0 (0.00)	(0.0)
	総 数	4,429 (100.0)	191 (4.3)	1 (0.02)	(0.5)
40歳以上	初 回	4,022 (16.5)	90 (2.2)	3 (0.07)	(3.3)
	非初回	20,393 (83.5)	177 (0.9)	0 (0.00)	(0.0)
	総 数	24,415 (100.0)	267 (1.1)	3 (0.01)	(1.1)

6] 発見がん調査の詳細

(1) 臨床進行期別発見数

臨床進行期		発見数
I A期	I A期	0
I B期以上	I B期	4
総 数		4

(2) TNM分類別発見数

TNM分類	I A期 (人)	I B期以上 (人)
T1・N0・M0	0	4
総 数	0	4

(3) 組織分類別発見数

	I A期 (人)	I B期以上 (人)
扁平上皮癌	0	2
腺 癌	0	2
総 数	0	4

(4) 治療分類別発見数

術式	I A期 (人)	I B期以上 (人)	AIS (人)	CIN3 (人)
子宮頸部円錐切除術	0	1	0	4
単純子宮全摘手術	0	0	1	1
広汎子宮全摘出術	0	2	0	0
広汎子宮頸部摘出術	0	1	0	0
未記入	0	0	1	5
総 数	0	4	2	10

【細胞診のみ】

1 検診実施状況

1] 受診状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	1,377	48 (3.5)

2] 細胞診結果内訳

細胞診結果	ベセスダシステム判定結果内訳 (適正検体)										
	受診者数	適 正 標 本									不適正 標 本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	
19 歳 以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 ~ 24 歳	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25 ~ 29 歳	6	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0
30 ~ 34 歳	17	15	0	0	1	1	0	0	0	0	0
35 ~ 39 歳	25	23	1	0	0	1	0	0	0	0	0
40 ~ 44 歳	127	120	3	0	2	2	0	0	0	0	0
45 ~ 49 歳	105	97	4	0	1	3	0	0	0	0	0
50 ~ 54 歳	118	112	3	0	2	0	0	1	0	0	0
55 ~ 59 歳	115	113	2	0	0	0	0	0	0	0	0
60 ~ 64 歳	216	212	3	0	0	1	0	0	0	0	0
65 ~ 69 歳	293	285	7	0	1	0	0	0	0	0	0
70 ~ 74 歳	248	241	4	0	0	3	0	0	0	0	0
75 ~ 79 歳	81	80	0	0	1	0	0	0	0	0	0
80 歳 以上	23	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総 数	1,377	1,329	27	0	9	11	0	1	0	0	0

2 精検結果内訳

	精 検 受 診												結 果	精 検 未 受 診	総 数	
	上 皮 内 がん *	上 皮 内 腺 がん *	微 小 浸 潤 扁平 上皮 がん *	微 小 浸 潤 腺 がん *	扁 平 上 皮 がん *	腺 がん *	そ の 他 の がん *	高 度 異 形 成 *	中 等 度 異 形 成	軽 度 異 形 成	腺 異 形 成 *	そ の 他 の 疾 患				異 常 を 認 め ず
総数	3	0	0	0	0	0	0	0	5	8	0	2	25	3	2	48

* 追跡調査対象者

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総数	3	0	0	0	3	3 (100.0)

2] 調査結果内訳

	発見がん		AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	腺異形成 (%)	その他 疾患 (%)	異常なし (%)
	I B期以上 (%)	I A期 (%)							
総数	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

3] 検診での細胞診結果と発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma
	適正	不適正									
	1,377	0									
要精検者数	48	-	-	27	-	9	11	-	1	-	-
精検受診者数	43	-	-	25	-	8	9	-	1	-	-
発見がん数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
19歳以下	0	- (-)	- (-)	- (-)
20～24歳	3	0 (0.0)	- (-)	- (-)
25～29歳	6	1 (16.7)	1 (100.0)	0 (0.00)
30～34歳	17	2 (11.8)	2 (100.0)	0 (0.00)
35～39歳	25	2 (8.0)	2 (100.0)	0 (0.00)
40～44歳	127	7 (5.5)	7 (100.0)	0 (0.00)
45～49歳	105	8 (7.6)	7 (87.5)	0 (0.00)
50～54歳	118	6 (5.1)	5 (83.3)	0 (0.00)
55～59歳	115	2 (1.7)	2 (100.0)	0 (0.00)
60～64歳	216	4 (1.9)	4 (100.0)	0 (0.00)
65～69歳	293	8 (2.7)	8 (100.0)	0 (0.00)
70～74歳	248	7 (2.8)	4 (57.1)	0 (0.00)
75～79歳	81	1 (1.2)	1 (100.0)	0 (0.00)
80歳以上	23	0 (0.0)	- (-)	- (-)
総数	1,377	48 (3.5)	43 (89.6)	0 (0.00)

5] 初回、非初回別実施状況

※平成30年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

(1) 実施状況

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診者数(%)	発見がん数(%)
初 回	614	30 (4.9)	28 (93.3)	0 (0.00)
非初回	763	18 (2.4)	15 (83.3)	0 (0.00)
総 数	1,377	48 (3.5)	43 (89.6)	0 (0.00)

(2) I A期・I B期以上の割合

該当者なし

(3) 年齢別実施状況

	受診者数(%)	要精検者数(%)	発見がん数(%)	陽性反応 適中度(%)	
39歳以下	初 回	36 (70.6)	4 (11.1)	0 (0.00)	(0.0)
	非初回	15 (29.4)	1 (6.7)	0 (0.00)	(0.0)
	総 数	51 (100.0)	5 (9.8)	0 (0.00)	(0.0)
40歳以上	初 回	578 (43.6)	26 (4.5)	0 (0.00)	(0.0)
	非初回	748 (56.4)	17 (2.3)	0 (0.00)	(0.0)
	総 数	1,326 (100.0)	43 (3.2)	0 (0.00)	(0.0)

6] 発見がん調査の詳細

(1) 臨床進行期別発見数

該当者なし

(2) T N M分類別発見数

該当者なし

(3) 組織分類別発見数

該当者なし

(4) 治療分類別発見数

発見がんは0人のためCIN3を記載

術 式	CIN3 (人)
子宮頸部円錐切除術	2
単純子宮全摘手術	1
総 数	3

4 まとめ

平成30年度の発見子宮頸がん追跡調査の結果、発見がん数はHPV併用方式で2人（I A期1人 I B期1人）、ASC-US時HPV追加方式で4人（すべてI B期）であった。細胞診のみの方式では発見がんは0人であった。がん発見率は、HPV併用方式で0.02%、ASC-US時HPV追加方式で0.01%であり、HPV併用方式のがん発見率が高い傾向にあったが有意差はなかった。また2方式とも初回受診・40歳以上のがん発見率が高かった。

発見子宮頸がんの組織型は、HPV併用方式で発見された2人のうち扁平上皮系が1人、腺系が1人であった。またASC-US時HPV追加方式では発見された4人のうち、扁平上皮系が2人、腺系が2人であった。

治療法の手術方式別は、HPV併用方式のがん2人のうち単純子宮全摘手術が1人、広汎子宮全摘出術が1人、ASC-US時HPV追加方式では、がん4人のうち子宮頸部円錐切除術が1人、広汎子宮全摘出術が2人、広汎子宮頸部摘出術が1人であった。

がん発見率はHPV併用方式がASC-US時HPV追加方式より高い傾向があった。HPV-DNA検査を取り入れることにより精度の高い検診が実施できると考えられる。

当施設における子宮頸がん検診の成績と事業評価指標値との比較は、付表の通りである。追跡調査の結果、がん発見率、要精検率及び陽性反応適中度は、HPV併用方式、ASC-US時HPV追加方式、細胞診のみの方式の3方式ともに、許容値を満たしていなかった。精検受診率は、3方式とも許容値を満たしていたが、目標値は満たしていなかった。ベセスダシステム導入に伴い、ASC-US判定が増えたことにより、要精検率と陽性反応適中度等は許容値を満たしていない値になっているのが現状である。今後は、ベセスダシステムに準拠した新たながん検診事業評価指標値が必要と考える。

付表 がん検診事業評価指標との比較

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
事業団 平成30年度	HPV併用	12,250	445 (3.6)	86.5	2 (0.02) (0.4)
	ASC-US時 HPV追加	28,844	458 (1.6)	71.0	4 (0.01) (0.9)
	細胞診のみ	1,377	48 (3.5)	89.6	0 (0.00) (0.0)
事業団 平成29年度	HPV併用	8,556	489 (5.7)	86.1	8 (0.09) (1.6)
	ASC-US時 HPV追加	29,760	608 (2.0)	80.6	12 (0.04) (2.0)
	細胞診のみ	1,397	38 (2.7)	81.6	0 (0.00) (0.0)
事業団 平成28年度	HPV併用	7,146	322 (4.5)	92.9	4 (0.06) (1.2)
	ASC-US時 HPV追加	31,741	623 (2.0)	87.8	13 (0.04) (2.1)
	細胞診のみ	1,438	26 (1.8)	100.0	0 (0.00) (0.0)
がん検診事業 評価指標	許容値		1.4%以下	70.0%以上	0.05%以上 4.0%以上
	目標値		90.0%以上		

平成30年度 出張型住民健診における発見乳がん追跡調査結果

令和2年1月31日現在

本調査票では、マンモグラフィをMG、超音波検査をUSと表記する。

1 検診実施状況

1] 検診方式別実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
MG + US	45,846	1,775 (3.9)
US	5,749	221 (3.8)
MG	1	0 (0.0)
総 数	51,596	1,996 (3.9)

2] 年齢別実施状況

	39歳以下 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70歳以上 (%)
MG + US	1,048 (2.3)	9,401 (20.5)	8,830 (19.3)	15,529 (33.9)	11,038 (24.1)
US	5,430 (94.5)	137 (2.4)	57 (1.0)	51 (0.9)	74 (1.3)
MG	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総 数	6,478 (12.6)	9,538 (18.5)	8,888 (17.2)	15,580 (30.2)	11,112 (21.5)

2 精検結果内訳

	精 検 受 診									精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数
	早 期 がん	進 行 がん	が ん 疑 い	線 維 腺 腫	乳 腺 症	嚢 胞	乳 管 内 乳 頭 腫	の そ 疾 患 他	異 常 な し			
総 数	101	12	35	290	420	216	81	113	545	164	19	1,996

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数	調査除外内訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
	(a) 詳細把握	(b) がん以外	(c)	(d) その他		
総数	151	3	0	1	147	127 (86.4)

2] 調査結果内訳（調査回収数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を併せた詳細）

	発 見 が ん			良 性 (%)	経 過 観 察 (%)	異 常 な し (%)	未 確 定 (%)	追 跡 不 能 (%)
	早 期 (%)	進 行 (%)	不 明 (%)					
総数	87 (58.0)	22 (14.7)	0 (0.0)	9 (6.0)	8 (5.3)	2 (1.3)	2 (1.3)	20 (13.3)

3] 検診方式別調査結果内訳

	発見がん			良性	経過観察	異常なし	未確定	追跡不能
	早期	進行	不明					
MG+US	84	21	0	8	6	2	2	20
US	3	1	0	1	2	0	0	0

4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診者数(%)	発見がん数(%)
29歳以下	244	13 (5.3)	11 (84.6)	0 (0.00)
30～34歳	2,358	105 (4.5)	91 (86.7)	2 (0.08)
35～39歳	3,876	204 (5.3)	180 (88.2)	1 (0.03)
40～44歳	5,041	338 (6.7)	311 (92.0)	8 (0.16)
45～49歳	4,497	236 (5.2)	206 (87.3)	8 (0.18)
50～54歳	4,111	192 (4.7)	170 (88.5)	12 (0.29)
55～59歳	4,777	152 (3.2)	141 (92.8)	9 (0.19)
60～64歳	6,606	228 (3.5)	210 (92.1)	16 (0.24)
65～69歳	8,974	226 (2.5)	211 (93.4)	22 (0.25)
70～74歳	6,540	195 (3.0)	180 (92.3)	16 (0.24)
75～79歳	3,317	76 (2.3)	74 (97.4)	12 (0.36)
80歳以上	1,255	31 (2.5)	28 (90.3)	3 (0.24)
総数	51,596	1,996 (3.9)	1,813 (90.8)	109 (0.21)

5] 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類	発見数 (%)
早期	0 (Tis) 15 (13.8) I 72 (66.1) (79.8)
進行	II A 13 (11.9) II B 6 (5.5) III A 1 (0.9) IV 1 (0.9) (19.3)
不明	1 (0.9)
総数	109

6] 組織学的分類別発見数

組織学的分類	発見数 (%)
非浸潤性乳管癌	12 (11.0)
微小浸潤癌	2 (1.8)
腺管形成型	18 (16.5)
浸潤性乳管癌	充実型 20 (18.3) 硬性型 32 (29.4)
亜型不明	11 (10.1)
粘液癌	4 (3.7)
浸潤性小葉癌	4 (3.7)
特殊型	アポクリン癌 1 (0.9) 髄様癌 1 (0.9) その他 1 (0.9)
不明・未記入	3 (2.8)
総数	109

4 検診方式別実施状況

1] MG + US 併用方式 (MGはML O1方向撮影、クーポン券利用の40歳代は原則2方向撮影)

(1) 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	検査別要精検者数 (%)		精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
			MG	US		
29歳以下	4	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
30~34歳	214	22 (10.3)	14 (6.5)	10 (4.7)	21 (95.5)	0 (0.00)
35~39歳	830	86 (10.4)	70 (8.4)	30 (3.6)	77 (89.5)	0 (0.00)
40~44歳	4,935	336 (6.8)	215 (4.4)	166 (3.4)	310 (92.3)	8 (0.16)
45~49歳	4,466	235 (5.3)	131 (2.9)	138 (3.1)	205 (87.2)	8 (0.18)
50~54歳	4,082	191 (4.7)	115 (2.8)	106 (2.6)	169 (88.5)	12 (0.29)
55~59歳	4,748	151 (3.2)	92 (1.9)	79 (1.7)	140 (92.7)	9 (0.19)
60~64歳	6,584	228 (3.5)	143 (2.2)	108 (1.6)	210 (92.1)	16 (0.24)
65~69歳	8,945	225 (2.5)	153 (1.7)	102 (1.1)	210 (93.3)	21 (0.23)
70~74歳	6,507	194 (3.0)	113 (1.7)	104 (1.6)	179 (92.3)	16 (0.25)
75~79歳	3,293	76 (2.3)	49 (1.5)	37 (1.1)	74 (97.4)	12 (0.36)
80歳以上	1,238	31 (2.5)	18 (1.5)	16 (1.3)	28 (90.3)	3 (0.24)
総数	45,846	1,775 (3.9)	1,113 (2.4)	896 (2.0)	1,623 (91.4)	105 (0.23)

* 検査別要精検者数については総合判定後の内訳

(2) 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

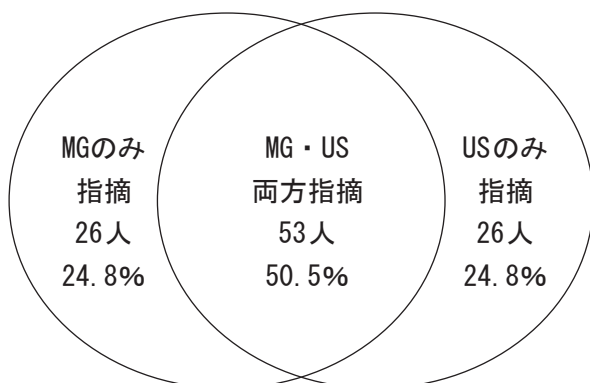
臨床病期分類	発見数 (%)
早期	0 (Tis) 15 (14.3) (80.0)
	I 69 (65.7)
進行	II A 12 (11.4) (19.0)
	II B 6 (5.7)
	III A 1 (1.0)
	IV 1 (1.0)
不明	1 (1.0)
総数	105

(3) 組織学的分類別発見数

組織学的分類	発見数 (%)
非浸潤性乳管癌	12 (11.4)
微小浸潤癌	2 (1.9)
腺管形成型	18 (17.1)
浸潤性充実型乳管癌	19 (18.1)
硬性型	30 (28.6)
垂型不明	11 (10.5)
粘液癌	3 (2.9)
浸潤性小葉癌	4 (3.8)
特殊型アポクリン癌	1 (1.0)
髄様癌	1 (1.0)
その他	1 (1.0)
不明・未記入	3 (2.9)
総数	105

※ 両側乳がん1人あり、Stageの高い方に計上

(4) 検査方法別発見がん内訳



(5) 手術方法

切除範囲	乳房部分切除術	乳房切除術	皮膚温存乳房 切除術 (SSM)	乳頭温存乳房 切除術 (NSM)	不明
総数	62	40	2	1	1

*両側乳がんが1人いるが、手術方法は左右同じであった。のべ総数106。

(6) 検査方法別発見率及び陽性反応適中度

		MG		US		総数	
実施人数						45,846	
発見がん数 (%)		79	(0.17)	79	(0.17)	105	(0.23)
総合判定前	要精検者数 (%)	1,505	(3.3)	909	(2.0)	2,167	(4.7)
	陽性反応適中度 (%)	5.2		8.7		4.8	
総合判定後	要精検者数 (%)	1,113	(2.4)	896	(2.0)	1,775	(3.9)
	陽性反応適中度 (%)	7.1		8.8		5.9	

(7) 初回・非初回別実施状況

※ 平成30年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も乳がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上乳がん検診を受診している者

1) 検査方法別要精検率内訳

	初回 (16.6%)					非初回 (83.4%)				
	受診 者数	要精検 者数 (%)	検査方法別 要精検率 (%)		受診 者数	要精検 者数 (%)	検査方法別 要精検率 (%)			
			MG	US			MG	US		
29歳以下	4	0 (0.0)	0.0	0.0	0	- (-)	-	-		
30～34歳	128	19 (14.8)	10.2	5.5	86	3 (3.5)	1.2	3.5		
35～39歳	296	40 (13.5)	10.5	6.8	534	46 (8.6)	7.3	1.9		
40～44歳	1,272	165 (13.0)	8.7	6.7	3,663	171 (4.7)	2.8	2.2		
45～49歳	927	119 (12.8)	8.6	6.8	3,539	116 (3.3)	1.4	2.1		
50～54歳	852	110 (12.9)	8.9	5.9	3,230	81 (2.5)	1.2	1.7		
55～59歳	820	77 (9.4)	7.3	3.9	3,928	74 (1.9)	0.8	1.2		
60～64歳	1,123	117 (10.4)	8.1	3.8	5,461	111 (2.0)	1.0	1.2		
65～69歳	1,087	97 (8.9)	7.5	3.0	7,858	128 (1.6)	0.9	0.9		
70～74歳	696	71 (10.2)	7.8	4.3	5,811	123 (2.1)	1.0	1.3		
75～79歳	292	20 (6.8)	4.1	3.4	3,001	56 (1.9)	1.2	0.9		
80歳以上	130	8 (6.2)	5.4	1.5	1,108	23 (2.1)	1.0	1.3		
総 数	7,627	843 (11.1)	8.1	4.9	38,219	932 (2.4)	1.3	1.4		

*検査方法別要精検率については総合判定後の内訳

2) 初回、非初回別 病期分類内訳

病期分類	初回：受診者数 / 発見率(%)*		非初回：受診者数 / 発見率(%)*		総数：受診者数 / 発見率(%)*	
	7,627/0.45		38,219/0.19		45,846/0.23	
	発見数(%)		発見数(%)		発見数(%)	
早期	0	7 (20.6)	8 (11.3)	15 (14.3)	15 (14.3)	(80.0)
	I	18 (52.9)	51 (71.8)	69 (65.7)	69 (65.7)	(83.1)
進行	II A	7 (20.6)	5 (7.0)	12 (11.4)	12 (11.4)	
	II B	1 (2.9)	5 (7.0)	6 (5.7)	6 (5.7)	(19.0)
	III A	1 (2.9)	0 (0.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	
	IV	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (1.0)	1 (1.0)	
不明	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (1.0)	1 (1.0)		
総数	34	71	105			

*発見率は未記入、不明のものもすべて含む

2] US単独方式

※ 主に30代のUS単独検診と、40歳以上で当施設が定める禁忌事項に当てはまりMG撮影が出来なかった受診者

(1) 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診者数(%)	発見がん数(%)
29歳以下	240	13 (5.4)	11 (84.6)	0 (0.00)
30～34歳	2,144	83 (3.9)	70 (84.3)	2 (0.09)
35～39歳	3,046	118 (3.9)	103 (87.3)	1 (0.03)
40～44歳	106	2 (1.9)	1 (50.0)	0 (0.00)
45～49歳	31	1 (3.2)	1 (100.0)	0 (0.00)
50～54歳	28	1 (3.6)	1 (100.0)	0 (0.00)
55～59歳	29	1 (3.4)	1 (100.0)	0 (0.00)
60～64歳	22	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)
65～69歳	29	1 (3.4)	1 (100.0)	1 (3.45)
70～74歳	33	1 (3.0)	1 (100.0)	0 (0.00)
75～79歳	24	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)
80歳以上	17	0 (0.0)	- (-)	0 (0.00)
総数	5,749	221 (3.8)	190 (86.0)	4 (0.07)

(2) 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類	発見数(%)
早期 I	3 (75.0)
進行 II A	1 (25.0)
総数	4

(3) 組織学的分類別発見数

組織学的分類	発見数(%)
浸潤性 充実型	1 (25.0)
乳管癌 硬性型	2 (50.0)
特殊型 粘液癌	1 (25.0)
総数	4

(4) 手術方法

切除範囲	乳房部分切除術
総数	4

(5) 検査方法別発見率及び陽性反応適中度

	受診者数	要精検者数	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
US	5,749	221	4 (0.07)	1.8

(6) 40歳未満に限定した陽性反応適中度

	受診者数	要精検者数	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
US	5,430	214	3 (0.06)	1.4

4] MG単独方式

※ MG + US検診対象であるが、検診時MGのみ受診した者

(1) 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
50～54歳	1	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
総数	1	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)

5 まとめ

平成30年度の受診者数は51,596人であり、平成29年度の51,261人から増加している。

追跡調査票の回収率は86.4%と平成29年度の98.1%から大きく減少した。発見がん数は109人であった。要精検率3.9%、精検受診率90.8%、陽性反応適中度5.5%であり、がん検診事業評価指数の許容値を満たし、精検受診率は目標値をも満たしていた。がん発見率0.21%は許容値に満たなかった。追跡調査票未回収の20人のうち、精検結果連絡票ではがんであったものが16人あったことから、回収率が上がればがん発見率も許容値を満たせた可能性が高いと考えられる。

1) MG + US併用方式の受診者数は45,846人で、当施設の乳がん検診の88.9%を占めている。今年度からMG + CBE併用方式・CBE単独方式を行っていた団体がMG + US併用方式に変更したため、平成29年度のMG + US併用方式の乳がん検診に占める割合85.5%から増加した。発見がん数は105人であった。要精検率3.9%、精検受診率91.4%、がん発見率0.23%、陽性反応適中度5.9%であり、がん検診事業評価指数の許容値を満たしていた。MGとUS両方で指摘し発見されたがんは53人50.5%、USのみで発見されたがんが26人24.8%、MGのみで発見されたがんは26人24.8%であった。

平成29年度より分離併用総合判定方式を導入し、今年度は2年目となる。総合判定の対象となったのは2,167人4.7%であり、総合判定後1,775人3.9%が要精検、がん発見率は0.23%となった。平成29年度はがん発見率0.26%、要精検率3.9%で、今年度と要精検率は変わらないが、がん発見率は低下した。がん検診事業評価指数の許容値を満たしているが、回収率減少の影響が考えられるので来年度以降の精度を注視したい。

2) US単独方式の受診者数は5,749人であり、がん発見数は4人でがん発見率0.07%であった。

付表 がん検診事業評価指標との比較

	受診者数	要精検者数 (%)	精検 受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
事業団 平成30年度	51,596	1,996 (3.9)	(90.8)	109 (0.21)	(5.5)
事業団 平成29年度	51,261	2,074 (4.0)	(87.7)	121 (0.24)	(5.8)
事業団 平成28年度	50,308	2,281 (4.5)	(89.5)	109 (0.22)	(4.8)
がん検診 事業評価指数	許容値	11.0%以下	80.0%以上	0.23%以上	2.5%以上
	目標値		90.0%以上		

※ 乳がん検診の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は参考値とする

平成30年度 出張型住民健診における発見前立腺がん追跡調査結果

令和2年1月31日現在

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総数	26,990	2,026 (7.5)

2 精検結果内訳

	精 検 受 診							精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数
	早期がん	進行がん	がん疑い	前立腺肥大症	前立腺炎	その他の疾患	異常なし			
総数	74	18	354	478	37	33	466	492	74	2,026

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総数	451	9	2	7	433	410 (94.7)

2] 調査結果内訳

	発 見 が ん			その他の疾患 (%)	異常なし (%)	経過観察 (%)	未確定 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)				
総数	95 (23.2)	27 (6.6)	10 (2.4)	48 (11.7)	29 (7.1)	194 (47.3)	7 (1.7)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
39歳以下	21	0 (0.0)	-	-
40～44歳	271	7 (2.6)	4 (57.1)	0 (0.00)
45～49歳	382	6 (1.6)	4 (66.7)	0 (0.00)
50～54歳	1,395	39 (2.8)	24 (61.5)	1 (0.07)
55～59歳	1,722	77 (4.5)	47 (61.0)	0 (0.00)
60～64歳	3,569	271 (7.6)	192 (70.8)	10 (0.28)
65～69歳	7,358	556 (7.6)	399 (71.8)	41 (0.56)
70～74歳	6,023	442 (7.3)	315 (71.3)	33 (0.55)
75～79歳	3,986	366 (9.2)	273 (74.6)	27 (0.68)
80歳以上	2,263	262 (11.6)	208 (79.4)	20 (0.88)
総数	26,990	2,026 (7.5)	1,466 (72.4)	132 (0.49)

4] 臨床病期 (ABCD分類) 別発見数

ABCD分類	発見数 (%)
B0	12 (9.1)
B1	57 (43.2)
B2	26 (19.7)
C	19 (14.4)
D	8 (6.1)
不 明	10 (7.6)
総 数	132 (100.0)

5] 臨床病期 (T分類) 別発見数

T分類	発見数 (%)
T1c	20 (15.2)
T2a	54 (40.9)
T2b	3 (2.3)
T2c	26 (19.7)
T3a	20 (15.2)
T3b	4 (3.0)
T4	2 (1.5)
不 明	3 (2.3)
総 数	132 (100.0)

(1) T分類別による所属リンパ節への転移 (N) 及び遠隔転移 (M) の内訳

臨床病期 分 類	発見数	所属リンパ節転移 (N)				遠隔転移 (M)			
		N0	N1	NX	不明	M0	M1	MX	不明
T1c	20	18	0	1	1	17	0	1	2
T2a	54	53	1	0	0	52	2	0	0
T2b	3	3	0	0	0	3	0	0	0
T2c	26	24	0	1	1	24	0	1	1
T3a	20	17	3	0	0	18	1	0	1
T3b	4	3	1	0	0	4	0	0	0
T4	2	2	0	0	0	1	1	0	0
不 明	3	0	0	0	3	0	0	0	3
総 計	132	120	5	2	5	119	4	2	7

6] Gleasonスコア別発見数

Gleasonスコア	発見数 (%)
6	13 (9.8)
7	62 (47.0)
8	25 (18.9)
9	23 (17.4)
10	4 (3.0)
不 明	5 (3.8)
総 数	132 (100.0)

7] 治療法別発見数

治 療 法	発見数 (%)
監 視 療 法	5 (3.8)
内 分 泌 療 法	27 (20.5)
手 術 療 法	62 (47.0)
放 射 線 療 法	28 (21.2)
不 明	10 (7.6)
総 数	132 (100.0)

8] 初回、非初回別実施状況

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も前立腺がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上前立腺がん検診を受診している者

(1) 実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適 中 度 (%)
初 回	4,334	394 (9.1)	270 (68.5)	43 (0.99)	(10.9)
非初回	22,656	1,632 (7.2)	1,196 (73.3)	89 (0.39)	(5.5)
総 数	26,990	2,026 (7.5)	1,466 (72.4)	132 (0.49)	(6.5)

(2) 臨床病期 (ABCD分類)

ABCD分類	初 回	非初回	
	発見数 (%)	発見数 (%)	
早期	B0	3 (10.3)	9 (13.6)
	B1	17 (58.6)	40 (60.6)
	B2	9 (31.0)	17 (25.8)
	計	29 (72.5)	66 (80.5)
進行	C	9 (81.8)	10 (62.5)
	D	2 (18.2)	6 (37.5)
	計	11 (27.5)	16 (19.5)
不 明	3	7	
総 数	43	89	

(3) Gleasonスコア

Gleasonスコア	初 回	非初回	
	発見数 (%)	発見数 (%)	
早期	6以下	4 (13.8)	9 (13.6)
	7以上	24 (82.8)	56 (84.8)
	不明	1 (3.4)	1 (1.5)
	計	29 (72.5)	66 (80.5)
進行	6以下	0 (0.0)	0 (0.0)
	7以上	11 (100.0)	15 (93.8)
	不明	0 (0.0)	1 (6.3)
	計	11 (27.5)	16 (19.5)
総 数	40	82	

(4) 初回のうち進行がんであった11人の精検結果状況

ABCD分類	検診時 P S A値	Gleasonスコア	TNM分類
C	6.9	9	T3a, N0, M0
C	14.9	9	T3a, N0, M0
C	16.5	7	T3a, N0, M0
C	20.4	8	T3a, N0, M0
C	20.8	7	T3b, N0, M0
C	45.2	9	T3a, N0, M0
C	61.9	9	T3a, N0, M0
C	100.0	8	T3a, N0, M0
C	250.0	9	T3a, N0, M0
D	14.5	9	T3b, N1, M0
D	100.0	8	T3a, N1, M1

(5) 非初回のうち進行がんであった16人のH30年度と前回受診年度の検診及び精検結果状況

ABCD 分 類	H30年度受診			前回受診結果		
	検診時 P S A 値	Gleason スコア	TNM分類	受診 年度	検診時 P S A 値	精検結果
C	4.1	7	T3a, N0, M0	H29	3.4 (異常なし)	—
C	4.4	7	T3b, N0, M0	H29	4.9	前立腺肥大症
C	4.9	8	T3b, N0, M0	H29	3.4 (異常なし)	—
C	5.8	10	T3a, N0, M0	H29	3.9 (異常なし)	—
C	6.0	7	T3a, N0, M0	H29	4.3	精検未受診
C	6.5	7	T3a, N0, M0	H29	4.2	精検未受診
C	6.6	8	T3a, N0, M0	H29	4.7	精検未受診
C	7.6	9	T3a, N0, M0	H29	6.1	前立腺肥大症
C	17.0	9	T3a, N0, M0	H28	6.1	前立腺肥大症
C	21.9	9	T3a, N0, M0	H29	15.2	精検未受診
D	4.8	8	T3a,N1,不明	H28	1.2 (異常なし)	—
D	5.0	9	T2a, N1, M1	H29	3.5 (異常なし)	—
D	5.8	9	T2a, N0, M1	H28	2.3 (異常なし)	—
D	7.1	10	T4, N0, M1	H29	3.2 (異常なし)	—
D	8.9	不明	T3a, N1, M0	H29	4.7	前立腺肥大症
D	13.1	10	T4, N0, M0	H29	6.5	精検未受診

(6) 非初回89人の前回受診結果と精検受診の状況

	発見がん数	前 回 受 診 結 果	
		異常なし	要精検 (精検未受診)
早 期	66	34	32 (6)
進 行	16	7	9 (5)
不 明	7	1	6 (2)
総 数	89	42	47 (13)

4 まとめ

今回の発見前立腺がん追跡調査結果では、132人のがんが確定され、全体のがん発見率は0.49%であった。年齢別にかん発見率をみると、60歳以上から加齢とともに上昇傾向を示していた。

発見がん132人の臨床病期（ABCD分類）は、早期がんである病期B群が多く、B0が12人（9.1%）、B1が57人（43.2%）、B2が26人（19.7%）であり、全体の72.0%を占めていた。また、臨床病期TNM分類のうち原発腫瘍の深達度を分類するT分類では、がんが前立腺内にとどまっているT1c、T2a、T2b、T2cが多く、全体の103人（78.1%）であった。

組織学的悪性度の指標であるGleasonスコアでは、スコア6以下の病理組織学的に低悪性度群が13人（9.8%）、スコア7の中間群が62人（47.0%）、高悪性度群であるスコア8以上は52人（39.3%）であった。

初回受診と非初回受診別にみた実施状況では、要精検率は初回受診群9.1%、非初回受診群7.2%、がん発見率は初回受診群0.99%、非初回受診群0.39%、陽性反応適中度は初回受診群10.9%、非初回受診群5.5%であり、非初回受診群と比較して初回受診群の方が要精検率、がん発見率ともに有意（ $p < 0.01$ ）に高かった。臨床病期（ABCD分類）による早期がん割合の比較では、初回受診群72.5%、非初回受診群80.5%と、非初回受診群の方が高かったが有意な差は認められなかった。また、Gleasonスコアの比較では、早期がん、進行がんともに初回受診群、非初回受診群のGleasonスコア別発見割合に差は認められなかった。

また、非初回のうち進行がんであった16人に着目して前回受診年度の検診結果をみると、前回検診結果が「異常なし」であった者が16人中7人認められたが、7人のうち6人のGleasonスコアは、病理組織学的に高悪性度群であるスコア8以上であった。このことから、要精検となった場合には、悪性度が高く進展の早いがんであることも考慮し、速やかに専門の精密検査医療機関を受診することが重要であると考えられた。さらに、非初回89人のうち前回受診結果が要精検であった者が47人で、そのうち13人が精検未受診者であったことから、要精検者への適切な精検受診勧奨が必要であると思われた。

今回発見された前立腺がんの約7割が早期がんであったが、Gleasonスコアでは、悪性度が中間群以上で積極的治療の対象となるスコア7以上が全体の約8割を占めていた。早期に発見された前立腺がんは治療法の選択肢も多く、根治の可能性があることから、定期的に前立腺がん検診を受診し、要精検となった場合には、速やかに専門の精密検査医療機関を受診し、適切な診断・治療を受けることが重要であると考えられた。